

坂井の議会報告 & なんでもフリートーク

市政のトピックについて報告します。そのほか、市政や議会について話しましょう。

Zoom & 会場 開催

会場は直接どうぞ！Zoomの方はURLをお知らせしますので、坂井に連絡ください。

議会の日程(予定)

- 2024年1月 基本10時開会
- 11日(金) 建設環境委員会
 - 16日(火) 14時 議員研修会
 - 22日(月) 議会運営委員会
 - 13時 議会基本条例検証協議会
 - 23日(火) 総務企画委員会
 - 26日(金) “行革推進”特別委員会
- 2月
- 6日(火) 厚生文教委員会
 - 14日(水) 13時 “庁舎建設等”特別委員会
 - 15日(木) 14時 議会運営委員会
 - 20日(火) 本会議 **3月議会スタート!**



2024年 **2月18日(日)**
午後2時～3時30分
@スペースこっこ(本町2-19-6 1-105)

市議会主催！議会報告会

議会基本条例で年1回以上行うこととしています。昨年度に引き続き、同じ内容で2回開催します。どうぞご参加ください。

2024年 **1月26日(金)**
午後7時～9時 @マロンホール

27日(土)
午後2時～4時 @市役所本庁舎3階

問合せ：議会事務局 042-387-9947
g020199@kogensi-shi.jp

ご意見・お困りごとうかがいます

坂井えつ子 小金井市議 3期8年目
●1980年大阪生まれ。緑町に転入、現在は桜町在住。緑小、緑中、小金井北高、日本大学法学部卒業。日本福祉教育専門学校入学
●市議会：建設環境委員会、庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会(副委員長)、広報協議会



 090-1796-7652
 info@sakaietsuko.com
 (事務所)本町2-19-6 1-105
 公式ホームページ

小金井市議会議員

坂井えつ子

のつながる

小金井通信

2026年度着工めざす。ムサコ北口再開発で125mのタワーマン!

温室効果ガスの排出削減 市公共施設のシン・目標は後退では!?

市議会主催！議会報告会

新庁舎建設 環境負荷が少し軽減されそう!

パレスチナ・ガザ及びイスラエルにおける平和の早期実現を求める決議 可決!!

Vol.76 2023年12月議会報告号

建てよう！新庁舎

市は、「広場が広げられるか検討したが、大幅な拡大が望めないのでは今後は検討しない」とし、「新庁舎と新福祉会館の同時竣工&市民説明会で出た意見で構造に影響を及ぼさないもの」を反映するための予算を議会に提案。坂井を含む賛成多数で可決しました。2027年11月に工事が終わり、2028年4月に供用開始の予定です。



(小金井市ホームページ https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/seisakukai/aku/sintyosakanren/soirase/15/sintyoku_202309.files/gyoumhoukokuoye_gaiyouban.pdf)

坂井も議会で指摘していた案件。市民説明会でも意見が出た結果、反映されました!

太陽光パネル 30Kwに減らしていたものが 80Kwに戻る!

福祉会館屋上の人工芝 取りやめ! ゴムチップマットorイワダレソウの導入など検討。



坂井の視点

温室効果ガスの排出を減らそう!

市は「2022年度 市公共施設からの温室効果ガス排出量は、基準年度(2019年度)比で6.1%の増加、本庁舎等の再エネ100%電力の導入分を考慮しても4.6%の増加」と説明していますが、2021年3月に計画が変わったので旧計画の数値もあわせて分析しました。

◆ 2022年度排出量は、前計画の基準年度と比べると33.7%増加!!

2022年度排出量は、現計画の基準年度と比較すると6.1%増ですが、前計画の基準年度(2006年度)比だと33.7%増加している計算になります。

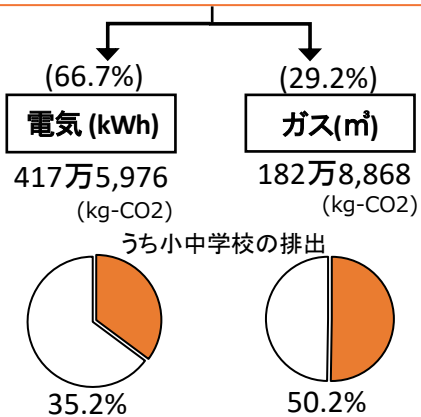
◆ 基準年度、目標値は増加! 削減目標はマイナス

現計画の目標値は旧計画よりも146万(kg-CO2)も高く設定されていて、削減目標値もおおよそ半減!

	基準値(kg-CO2) (基準年度)	目標値(kg-CO2) (目標年度)	目標設定
旧計画	468万5,426(2016)	399万6,000(2020)	14.7%削減
現計画	590万6,192(2019)	545万7,321(2025)	7%削減
比較	+122万766 126%	+146万1,321 137%	-7.7%

◆ 学校の教室 断熱改修しよう!

2022年度 温室効果ガス排出量
626万5,180(kg-CO2)



市公共施設から排出される温室効果ガスのうち67%は電気、29%がガスです。電気のうち35.2%、ガスの50%は市立小中学校が排出しています。教室の温度測定では、3校で望ましいとされる28度を超えていました。温室効果ガス排出削減と学習環境を維持向上するため、教室の断熱改修を提案しましたが、「研究します」との答弁で実現はまだ先になりそう。

気候危機はより深刻になっているのに、削減目標が以前より後退しているのは評価できません。自治体でできる取組みの提案を続けます。



注目!

全会一致で決議を可決

パレスチナ・ガザ及びイスラエルにおける平和の早期実現を求める決議

2023年10月7日にパレスチナ自治区ガザ地区を支配するイスラム組織ハマスとイスラエル軍との戦闘が始まってから、およそ2ヶ月が経過、11月24日に始まった戦闘の一時休止と人質の交換は7日間で終わった。人道危機がさらに悪化しないよう、国際法に基づいた事態の早期鎮静化と人道状況の改善を図ること、戦闘の即時停止と終結が必要である。

小金井市議会は、1960年「世界連邦平和都市宣言」で世界連邦の実現を希求し、1982年「小金井市非核平和都市宣言」で、世界の恒久平和は、人類共通の願望であるとしている。小金井市においても2008年に、イスラエルとパレスチナ双方の若者を招いた交流事業「中東和平プロジェクト in 小金井」を実施するなど、以降数年にわたり事業を実施し、世界に平和を訴えた経緯がある。

よって、小金井市議会は、全ての人々が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有することを確認し、全ての国が国際法に基づき、パレスチナ・ガザ及びイスラエルにおける平和の早期実現を求めるものである。

以上、決議する。

令和5年 月 日

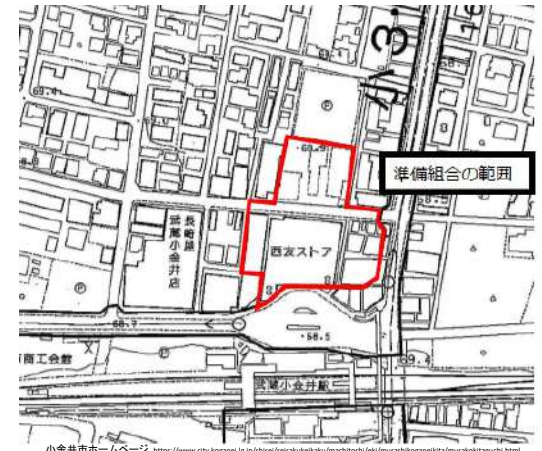
小金井市議会

市民の意思を代表する市議会が、党派を超え決議を可決できたことは大きな意味があります。全国およそ1700ある自治体のうち、170の議会で決議や意見書が可決されているようです(12月末時点)。一刻もはやく戦闘が終わることを望みます。



武蔵小金井駅北口 再開発

2023年11月、小金井市は、武蔵小金井駅北口のまちづくりの方針を策定しました。武蔵小金井駅北口駅前東地区市街地再開発準備組合では、西友があった場所に高さ125mのタワーマンションを建設する計画で、2026年度着工を目指しています。



基本的に駅前一極集中のまちづくりではなく、地域ごとににぎわいがあるまちを望んでいますが、地域の要望は強く、計画も決まったところなので、環境配慮していただけるよう注目していきます。



【ひとことニュース】 東小と本町小の学校給食調理が2026年4月から委託する方針が示されました。これですべて市内小中学校全14校が委託され、直営校がなくなることになります。市として受け持つ現場をなくして大丈夫!?